

活気と潤いがあり、みんなが「育つ」学校を目指して

自分の一歩 みんなの一歩

校長室だより II

朝霞市立朝霞第一小学校

令和3年7月14日

N o 3 6 (合同N o 1 3)

校長 野口 邦彦

師弟同行(していどうこう)

私のやっている剣道の世界に「師弟同行（していどうこう）」という言葉があります。「師匠と弟子（今でいえば先生と児童）が、同じ道を歩む」いわゆる「先生だからと言って偉いわけではなく、ちょっと先に生まれて、ちょっと先の道を歩き、子ども達の道しるべになっているだけ。先生から子供達を見れば誰もが来た道であり、子ども達にとっては、これから行く道。先生も児童も、結局は同じ道を歩んでいる」という意味です。

7月7日（水）、指導者を招えての第1回目の校内研修が行われました。昨年度までは「プログラミング教育」に取り組んでいた一小ですが、今年度からは「ICT活用」にテーマを変更しました。

校内研修、全体会の風景



鈴木先生のご指導



実際に
タブレットを
使ったの演習

各学年の公開授業風景



なのはな
学級
生活単元

2年生
生活科



3年生理科

指導者は、昨年度に引き続き、埼玉県立総合教育センター 教職員研修担当の鈴木和也先生。昨年の一小の取組とのつながりの中で、「なぜICT活用なのか」「情報教育とICT活用の違い」など、今回は「ICT活用」の総論という事でご指導いただきました。

今年度より本格運用が始まったGIGAスクール構想、一人一台タブレットは初めての経験だけに、教師も児童も色々なことにチャレンジしながら進めています。そんな中で、今年度から始まった校内研修。この研修を通して、先生方の悩みや疑問、ICT活用のスキル、授業への活用方法など互いに研究し合い、それを子ども達の授業に還元していければと思います。

「society5.0」を見据え、先生も子ども達も、まさに「師弟同行」で進んでいければと思います。